



(第 69 図)

## (42) 大日本道中獨案内之図 (第 69 図)

年代 明治 13 年 (1880)

寸法 34.7×絵図掲載寸法は 124.5 (横総長は 165)

編集兼出版人 近藤太十郎

所蔵 高山市教育委員会 (角竹文庫)

この図は版本で、折り畳むと 17.5×8 センチになる。図の右端には「府県管轄地並ニ里程表」が付け加わる。東京府から沖縄県までの各県が表に記載され、●印が「東京ヨリ各地方エ里程」、○印が「西京ヨリ各地方エ里程」で、岐阜県を見ると、東京へは百三里三十丁、西京へは三十一里半とある。

中程に岐阜県の道中が記され、富山から南へ小杉、志らを、かん寺、唐沢、小豆沢、のくび、古川を経て高山に至る。高山から中仙道やぶ原まで十八里、中津川までは十里である。岐阜の加納までは一ノ宮、下呂、苗木、金山、八幡、下田、せき、加納とあり、各在所間に里程が記入してある。明治 13 年の図であるが、江戸時代からある里程を中心に描いた概念地図であり、実際の測量図とは相違する。

図の左端には諸国道中駅名里数表があり、全国の宿場間の里程が全て網羅されている。

※掲載されている情報 (文章、写真など) は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。